

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	◆C-7-5-1
事業名	(仮称) 女川町水産振興センター整備事業 (飲食施設)
事業費	総額 77,433 千円 (うち国費 61,945 千円) (内訳: 工事費 77,433 千円)
事業期間	平成 27 年度～平成 28 年度
事業目的	<p>基幹産業である水産加工・流通業の拠点となる水産加工団地を整備する計画に基づき、震災前には機関毎に点在していた「宮城県漁業協同組合女川町支所事務所」や「女川水産加工業協同組合の水産加工開放実験室」、「女川町水産物流通センター」等の水産関連施設を女川町地方卸売市場管理棟上階(3・4階)に集約し、(仮称) 女川町水産振興センターとして復旧整備することにより、水産関連施設の早期復旧と水産関係者(利用者)の利便性の向上を図ることとしている。</p> <p>本事業では、同センター内に飲食施設を整備し震災前に旧地方卸売市場管理棟内に整備されていた食堂機能を復旧することにより、利用者である水産加工業者(買受人)の福利厚生の上昇を図るものである。</p>
事業地区	宮ヶ崎地区
事業結果	<p>飲食施設の整備: 施設面積 134.03 m<sup>2</sup> (食堂 77.51 m<sup>2</sup>、厨房 33.42 m<sup>2</sup>、検収室 5.54 m<sup>2</sup>、事務室 6.93 m<sup>2</sup>、食品庫等 10.63 m<sup>2</sup>)</p>
事業の実績に関する評価	<p>①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 完成当初は女川町地方卸売市場の開設日と同じく開設していた(日曜日休み)が、市場関係者及び周辺事業者のほかに、新鮮な魚介類が食べられることから観光客の利用が非常に多く、開設日を月曜日休みとし土日も開設するよう変更した。 県外からの問い合わせも多く、観光客にも利用してもらえる施設として整備することができた。</p> <p>②コストに関する調査・分析・評価 業者選定にあたってはプロポーザルを実施した。 業者からのプレゼンを踏まえ、コスト、事業実施内容を選定委員会等で十分に協議の上、業者を選定したため妥当と考える。</p> <p>③事業手法に関する調査・分析・評価 震災前に旧地方卸売市場管理棟内に整備されていた食堂機能を復旧することにより、水産加工業者(買受人)の福利厚生の上昇を図ることができた。 また、立地環境上、新鮮な魚介類による食事の提供に伴い、水産関係者以外にも、一般の観光客等の利用もあり、女川町の観光事業の一助になったと思慮される。 事業期間についても、当初の予定どおり完成することができた。以上のことから事業手法について適切であると考えられる。</p>

<想定した事業期間>

平成 27 年 9 月～平成 28 年 5 月

<実際に事業に要した事業期間>

平成 27 年 9 月～平成 29 年 4 月

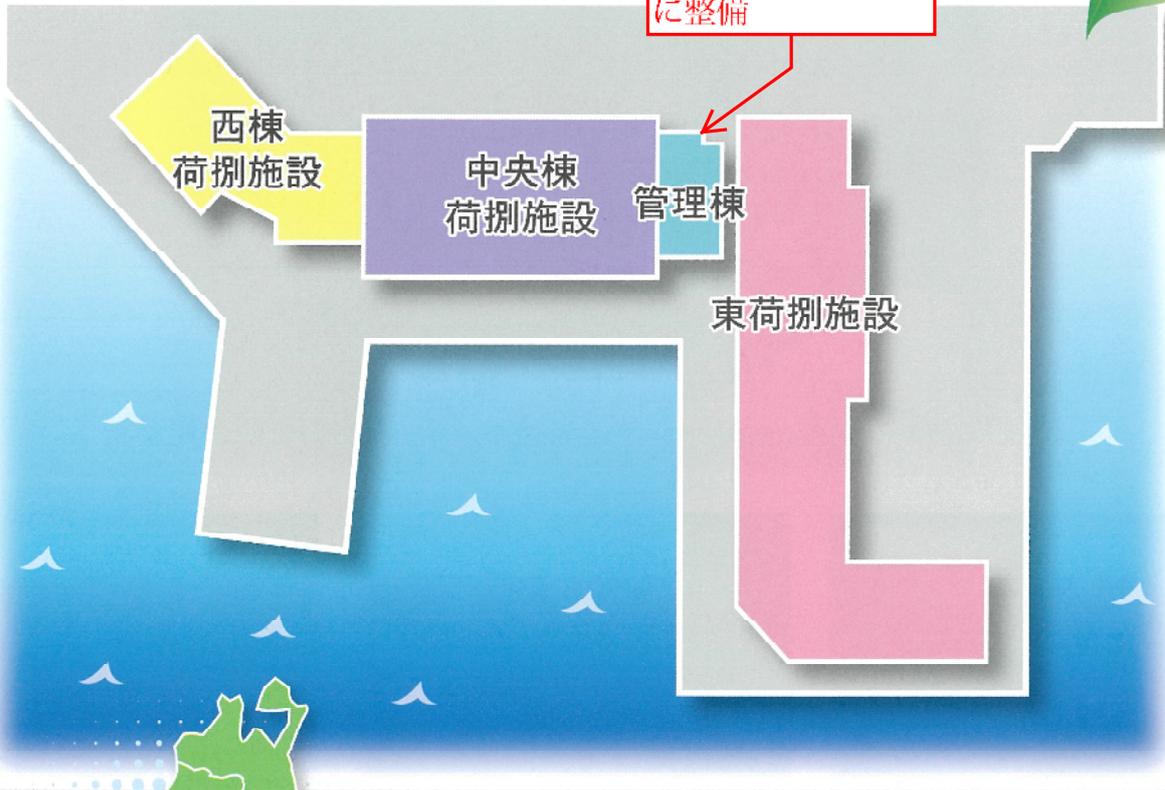
事業担当部局

産業振興課 電話番号：0225-54-3131



市場全体図

市場管理棟内3階に整備



### ● 施設概要

- 名称 / 女川町地方卸売市場
- 住所 / 宮城県牡鹿郡女川町  
宮ヶ崎字宮ヶ崎87番地内
- 敷地面積 / 36,396.83㎡  
(32,209.43㎡ 仮設荷捌場敷地除く)

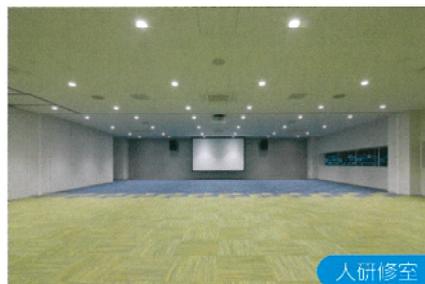


街景イメージ図

# 管理棟



サニタリー室



大研修室



開放実験室



貸事務所



買受人控室



食堂

## ●施設概要

○施設の名称／女川町地方卸売市場管理棟

○竣工年月日／平成28年6月

○床面積／3,280.08㎡

○建築構造／鉄骨造地上4階

○主な設備等／1F 市場管理事務所、買受人控室、従業員控室・食堂、魚市場宿直室、室内冷蔵庫、男女更衣室、男女トイレ、サニタリー室

2F (株)女川魚市場事務所、船員休憩室、大研修室、倉庫、男女トイレ

3F 宮城県漁業協同組合女川町支所事務所、**食堂**、貸事務所（8）男女トイレ

4F 開放実験室、中研修室、貸事務所（9）、サーバー室、電気室 給湯室、テラス、男女トイレ